

## 海難事故ゼロへの挑戦

茨城海上保安部では、平成30年11月30日(火)北茨城市平潟公民館において、茨城県農林水産部漁政課と合同で海難事故ゼロを目標に、漁業関係者に対し、漁船海難の発生状況、事故防止対策、救命胴衣の着用推進等についての海難防止講習会を開催しました。  
(事故防止のための留意事項は、次頁に記載してあります。)

海難防止講習(茨城保安部)



救命胴衣講習(茨城県漁政課)



## 漁船船長さんへのお願い事項

### 衝突・乗揚げ事故を防止するために

#### 常に見張りの徹底を

作業中は作業に没頭し、**見張りが疎か**になりがちです。  
常に**適切な見張り**を励行しましょう。

#### 居眠りに注意

作業後の疲労により、航行中は**居眠りに陥りやす**くなります。  
乗組員が2人以上の場合は見張りを**交代し休息を取る**、**居眠り防止装置を使用**するなどの対策を講じましょう。

#### 自動操舵使用時は注意

漁船事故の特徴の1つとして「**自動操舵**」使用時の**事故**が挙げられます。  
その原因は「**見張り不十分**」「**居眠り運航**」が多数のため、自動操舵装置付属の**アラーム装置の導入及び利用**を心がけましょう。

次のような場合は、**手動操舵**に切換え、安全に操船しましょう。

港内	船が多い海域	荒天時、視界不良時	周囲に浅瀬等がある場合
他船が接近するとき		針路を変えるとき	



# 漁船船長さんへのお願い事項

## 一人乗り漁船での安全な運行のために

### 集団での操業

単独での操業を避け、2隻以上での集団操業を心がけましょう。

### 気象情報の入手

出港時はもちろんのこと、航行・操業時にあっても、**気象情報の変化に注意**しましょう。

**荒天時は「出航しない」または「早めの帰航」**の判断が重要です。

### 連絡手段の確保

無線や携帯電話により定期連絡を行いましょう。

携帯電話は**防水パック**等に入れ携行し、常に連絡手段を確保しまししょう。

### 海中転落への備え

万一の海中転落に備え、**救命胴衣を着用**しまししょう。

また、船上に上がるためのハシゴやロープの設置をしまししょう。

**平成30年2月から、船室外の甲板上では、原則全ての乗船者に救命胴衣を着用させる**ことが、船長さんの義務です。

### 体調等への気配り

自身の体調・年齢等を考慮し、無理をしないようにしまししょう。

